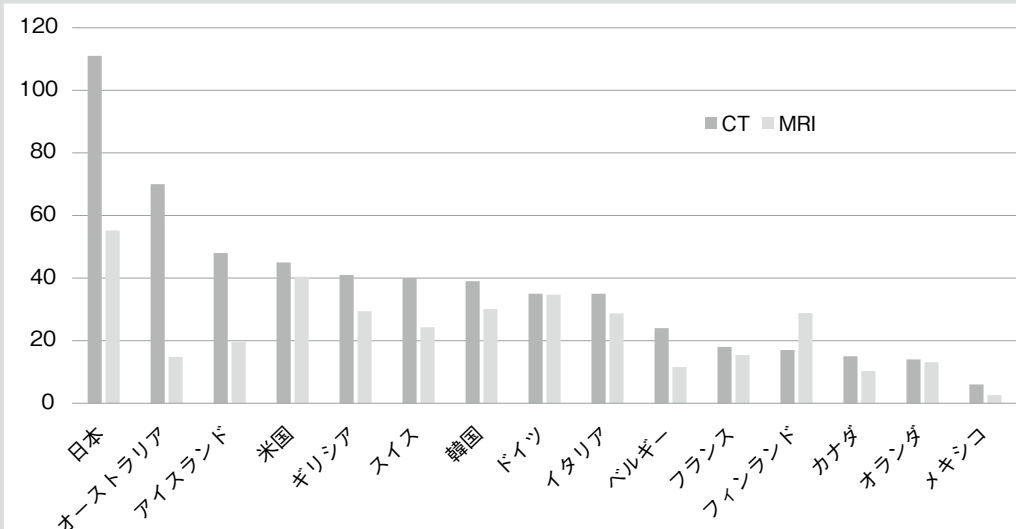


人口 100 万人当たりの CT と MRI の数 (2019 年ないし直近年)



OECD は各国における人口 100 万人当たりの CT と MRI の数を報告している。それによると、CT、MRI ともに日本の普及率は頭一つ飛び抜け、2 位以下を引き離している。これらの医療機器の普及が日本の高度医療を支えている。しかし、マルチスライス CT や 3TMRI 等の高性能な診断機器の台数も増加傾向にあるとされる一方で、1 台当たりの検査数は先進国で最小との指摘もある。対人口比の数が米国の 1/4 ともされる放射線科医の育成等、課題も残されている。

OECD 「Health at a Glance 2019」より作表